

坂戸市民有志が 福島の子ら招待

4泊5日 自然観察など



丸木ひさ子さんの指導を受けながら、Tシャツに絵を描く児童ら＝坂戸市で

は東松山市の絵本作家丸木ひさ子さんの指導で、Tシャツに染料で好きな絵を描いたり、センターの中庭で流しそうめんを楽しんだりして過ごした。(中里宏)

労働者向け講座

さいたままで開催

28日参加無料

サービス残業や長時間労働の解消を目指す「働くあなたの市民講座」が二十八日午後二時から、さいたま市浦和区仲町二の市民会館うらわで開かれる。

さいたま地区労働組合協議会の主催。困っている労働者向けに、四月に始まった罰則付きの時間外労働の上限規制(中小企業は二〇二〇年四月から)や、年次有給休暇の年五日の取得義務といった新ルールを講師が解説する。会場では専門の弁護士が、個別での相談

福島県郡山市の小学五、六年生二十七人が二十五日、坂戸市の入西地域交流センターを訪れた。坂戸市民有志でつくる「郡山子どもたちと遊ぶ会」(花田勝夫代表)が二〇一四年から続ける催しで六回目。児童らは二十九日まで四泊五日の日程で、自然観察やバーベキュー、工場見学などで夏休みの思い出をつくる。

「福島の子どもたちに外で思い切り遊んでもらおう」と毎年、郡山市教育委員会を通じて参加者を募

集。費用は坂戸市民や企業の寄付で賄い、大学生、高校生を含むボランティア数十人が引率や遊びの指導を行っている。一四年の第一回から二年連続で参加した郡山市の高校一年佐藤三咲さん(二)が今回、引率ボランティアとして参加し、遊ぶ会のメンバーを喜ばせた。

花田代表は「今後も交流を続けていきたい。来年は東京五輪の開催時期と重なるので、既にバスを予約した」と話していた。

初日のこの日、児童たち